

---

## ハンゲル参考文献

---

金成垣・金圓景・呉世雄編著『現代韓国の福祉事情—キャッチアップか、新しい挑戦か』巻末の参考文献は、日本語文献のみ紹介することとし、ハンゲルの参考文献は全てこちらに掲載している。

読者への便宜上、ハンゲル文献には、先に日本語訳をあてた。

文献は、章ごとに日本語訳の50音順で紹介している。

読者の皆さまには、書籍巻末の参考文献とあわせて参照をお願いします。

---

### 序章 社会保障制度改革にみる「脱キャッチアップ的挑戦」

金成垣

- イ・ビョンヒほか (2016)『自営業者問題と社会的保護』韓国労働研究院。[이병희 외, 2016, 『자영업자 문제와 사회적 보호』, 한국노동연구원]
- キム・ウォンソプ/ナム・ユンチョル (2011)「李明博政府における社会政策の発展——韓国福祉国家の拡大の終焉?」『亜細亜研究』54 (1): 119-154。[김원섭/남윤철, 2011, 「이명박 정부 사회정책의 발전: 한국복지국가 확대의 끝?」, 『아시아연구』54 (1), 119-194]
- キム・ヨンスン (2017)「ベーシックインカム浮上の社会経済的背景と意味」『福祉動向』第221号。[김영순, 2017, 「기본소득 부상의 사회경제적 배경과 의미」, 『복지동향』221호]
- 大統領諮問政策企画委員会 (2006)『先進福祉韓国のビジョンと戦略』ドンドウォン。[대통령 자문정책기획위원회, 2006, 『선진복지한국의 비전과 전략』, 동도원]
- ユン・ホンシク (2016)「基本所得、福祉国家の代案になりうるのか?」(2016社会政策連合同学術大会発表資料)。[윤홍식, 2016, 「기본소득, 복지국가의 대안이 될 수 있을까?」(2016한국사회정책연합공동학술대회 발표자료)]
- ユン・ホンシク (2019)『韓国福祉国家の起源と軌跡3——新自由主義と福祉国家, 1980年から2016年まで』社会評論アカデミー。[윤홍식, 2019, 『한국 복지국가의 기원과 궤적 3: 신자유주의와 복지국가, 1980년부터 2016년까지』, 사회평론아카데미]
- 労働部 (2004)『2004年版労働白書』労働部。[노동부, 2004, 『2004년판 노동백서』, 노동부]
- 

### 第1章 なぜ、「社会保険ではない制度」が広がりつつあるのか

金成垣

- イ・ビョンヒほか (2016)『自営業者問題と社会的保護』韓国労働研究院。[이병희 외, 2016, 『자영업자 문제와 사회적 보호』, 한국노동연구원]
- イ・ミョンヒョン (2014)『福祉国家とベーシックインカム』慶北大学校出版部。[이명현, 2014, 『복지국가와 기본소득』, 경북대학교출판부]
- ウォン・ヨンヒ (2017)『生存不安時代, 第4次産業革命とベーシックインカム』ノワナメディア。[원용희, 2017, 『생존불안시대, 4차 산업혁명과 기본소득』, 너와나미디어]
- 韓国労働研究院 (2019)『2019KLI非正規労働統計』韓国労働研究院。[한국노동연구원, 2019, 『2019KLI비정규노동통계』, 한국노동연구원]

- キム・キョソン/ベク・スンホ/ソ・ジョンヒ/イ・スン윤 (2018) 『ベーシックインカムが来る』社会評論アカデミー。[김교성/백승호/서정희/이승윤, 2018, 『기본소득이 온다: 분배에 대한 새로운 상상』, 사회평론아카데미] (=2021, 金教誠・白承浩・徐貞姬・李承潤『ベーシックインカムを実現する——問題意識から導入ステップ, 運動論まで』白桃書房。)
- キム・ミゴン/ユ・ジンヨン (2015) 『基礎保障現場モニタリング——現場専門家と実務者フォーラム』韓国保健社会研究院。[김미곤/유진영, 2015, 『기초보장 현장 모니터링: 현장 전문가와 실무자 포럼』, 한국보건사회연구원]
- キム・ヨンスン (2017) 「ベーシックインカム浮上の社会経済的背景と意味」『福祉動向』第221号。[김영순, 2017, 「기본소득 부상의 사회경제적 배경과 의미」, 『복지동향』 221호]
- 大統領直属政策企画委員会・関係部署合同 (2018) 『文在寅政府の「包容国家」ビジョンと戦略——国民の生活を変える内容と革新の社会政策』大統領直属政策企画委員会・関係部署共同。[대통령직속정책기획위원회/관계부합동 『문재인정부 ‘포용국가’ 비전과 전략: 국민의 삶을 바꾸는 포용과 혁신의 사회정책』, 대통령직속정책기획위원회/관계부합동] 統計庁 (2019a) 『2019年8月勤労形態別付加調査結果』統計庁。[통계청, 2019a, 『2019년 8월 근로형태별 부가조사결과』, 통계청]
- 統計庁 (2019b) 『2019年8月非賃金勤労および非経済活動人口付加調査結果』統計庁。[통계청 2019b, 『2019년 8월 비임금근로 및 비경제활동인구 부가조사결과』, 통계청]
- ト・ジェヒョン (2022) 「社会保険適用範囲拡大方案——全国雇員用保険フォードマップ関連争点を中心に」『梨花女子大学法学論集』 26 (4): 123-150。[도재현, 2022, 「사회보험 적용 범위 확대 방안: 전 국민 고용보험 로드맵 관련 쟁점을 중심으로」, 『이화여자대학교법학논집』 26 (4), 123-150]
- 共に民主党 (2017) 『第19代大統領選挙政策公約集——国らしく国を作る』共に民主党。[더불어민주당, 2017, 『제19대 대통령선거 정책공약집: 나라를 나라답게 더불어민주당』, 더불어민주당]
- バク・ヨンソク (2021) 『文在寅政府4年間の雇用政策に関する評価』(民主労働研究院イシューペーパー 2021-12)。[박영석, 2021, 『문재인정부 4년 일자리 정책 평가』, 민주노동연구원]
- ベク・スンホ/イ・スン윤/キム・テファン (2021) 「非標準的形態の雇用と社会保障改革の残された課題」『社会保障研究』 37 (2): 139-176。[백승호/이승윤/김태환, 2021, 「비표준적형태의 일과 사회보장개혁의 남아 있는 과제」, 『사회보장연구』 37 (2), 139-176]
- ユン・ホンシク (2016) 「ベーシックインカム, 福祉国家の代案になりうるのか?」(2016年, 2016社会政策連合共同学術大会発表資料)。[윤홍식, 2016, 「기본소득, 복지국가의 대안이 될 수 있을까?」(2016한국사회정책연합공동학술대회 발표자료)]

---

## 第2章 なぜ、税方式の基礎年金が拡大しているのか

裴 俊斐

- イ・ヨンハ (2014) 「韓国の年金制度の発展方向」キム・ソンスク編『公的年金の理解 (II)』国民年金研究院: 213-257。[이용하, 2014, 「한국연금제도의 발전방향」김성숙 편 『공적연金の 이해 (II)』, 국민연금연구원, 213-257]
- オ・ゴンホ (2016) 『私がつくる公的年金』チェックセサン。[오건호, 2016, 『내가 만드는 공

- 적연금], 책세상]
- キム・ヨンミョン(2022)「福祉国家の誕生と年金改革の方向——財政安定化年金改革の韓国福祉国家に対する含意」『社会福祉政策』49(3): 5-26. [김연명, 2022, 「복지국가의 탄생과 연금개혁의 방향: 재정안정화 연금개혁의 한국복지국가에 대한 함의」『사회복지정책』49(3), 5-26]
- 国民年金制度史編纂委員会(2015)『実録国民の年金』国民年金研究院. [국민연금제도사편찬위원회, 2015, 『실록 국민의 연금』, 국민연금연구원]
- 国会予算政策署(2023)『公的年金の改革と財政展望III: 国民年金中心の老後所得保障体系の改革と財政展望』. [국회예산정책처, 2023, 『공적연금개혁과 재정전망III: 국민연금 중심의 노후소득보장체계 개혁과 재정전망』, 국회예산정책처]
- チェ・オクム(2022)「基礎年金の現在: 基礎年金に提起される争点及び今後の課題」『年金フォーラム』88: 19-27. [최옥금, 2022, 「기초연금의 현재: 기초연금에 제기되는 쟁점 및 향후 과제」『연금포럼』88, 19-27]
- チェ・ソンウン/カン・ジウォン/イム・ワンソプ(2009)『2009社会予算分析』韓国保健社会研究院. [최성은/강지원/임완섭, 2009, 『2009사회예산 분석』, 한국보건사회연구원]
- 保健福祉部(2016)『保健福祉70年史——疾病の時代から健康時代へ』保健福祉部. [보건복지부, 2016, 『보건복지70년사: 질병의 시대에서 건강시대로』 보건복지부]
- リュ・ジェリンほか(2022)『年金改革と社会的合意モデルに関する研究』韓国保健社会研究院. [류재린 외, 2022, 『연금 개혁과 사회적 합의 모델에 관한 연구』, 한국보건사회연구원]

---

### 第3章 なぜ、民間「認知症保険」の加入が進むのか

金 圓景

- カン・ソンホ/キム・ヘラン(2020)「保険/年金の連携商品海外事例と示唆点」『KiRi高齢化レビュー』2020(01): 19-23. [강성호/김혜란, 2020, 「보험/연금의 연계상품 해외사례와 시사점』, 『KiRi고령화리뷰』, 2020(01), 19-23]
- キム・ソンスク(2021)「保険消費者の民営認知症保険加入特性と影響要因に関する研究」『金融消費者研究』11(1): 99-122. [김성숙, 2021, 「보험소비자의 민영치매보험 가입 특성과 영향요인에 관한 연구」『금융소비자연구』11(1), 99-122]
- キム・ドギョン(2018)『韓国福祉資本主義の歴史』ソウル大学出版文化院. [김도균, 2018, 『한국 복지자본주의의 역사』, 서울대학교출판문화원]
- キム・ヒョンギョン(2019)「認知症保険加入現況を通してみる高齢層保険市場の示唆点」『CIS 이슈レポート』2019(7): 1-9. [김현경, 2019, 「치매보험 가입현황을 통해 본 고령층 보험시장의 시사점』, 『CIS이슈리포트』2019(7), 1-9]
- キム・ミンクク(2019)「国内外認知症保険市場現況及び郵便局保険の示唆点」『郵政情報』2019(3): 63-86. [김민국, 2019, 「국내외 치매보험 시장 현황과 우체국보험의 시사점』, 『우정정보』2019(3), 63-86]
- 金融委員会(2021)「[報道資料] 7.1日より第4世代実損医療保険が販売される。国民健康保険を補完する私的社會安全網役割を持続遂行できるように商品構造を全面改編」。[금융위원회, 2021, 「[보도자료] 7.1일부터 제 4 세대 실손의료보험이 출시됩니다. 국민건강보험을 보완하는 사적사회안전망 역할을 지속 수행할 수 있도록 상품구조를 전면 개편」]

- 金融監督院 (2018) 「[金融ヒント200選]〈85〉認知症保険加入時留意事項」2018.5.4朝刊報道資料 (2018.5.3配布)。[금융감독원, 2018, [금융꿀팁200선]〈85〉치매보험 가입시 유의사항, 2018.5.4 조간 보도자료 (2018.5.3 배포)]
- 金融監督院 (2023) 「[金融ヒント200選]〈142〉重大な疾病保険など加入時代理請求人を予め指定してください」2023.5.19朝刊報道資料 (2023.5.18配布)。[금융감독원, 2023, [금융꿀팁200선]〈142〉중대한 질병보험 등 가입시 대리청구인을 미리 지정하세요, 2023.5.19 조간 보도자료 (2023.5.18 배포)]
- ジョン・ソンヒ (2022) 「人口高齢化時代, デジタル転換時代, 保険産業の力動性回復方案」『月間損害保険』644: 12-22。[정성희, 2022, 「인구고령화 디지털전환시대, 보험산업의 역동성 회복방안」, 『월간손해보험』 제644호, 12-22]
- 生命保険協会 (2021) 『第16次生命保険性向調査』生命保険協会。[생명보험협회, 2021, 『제16차 생명보험 성향조사』, 생명보험협회]
- 統計庁 (2018) 「韓国の社会動向2018」統計庁。[통계청, 2018, 『한국의 사회동향』, 통계청]
- 保健福祉部 (2020) 「社会的連帯を通じた認知症包容国家構成 第4次 (21-25) 認知症管理総合計画」保健福祉部。[보건복지부, 2020, 『사회적 연대를 통한 치매포용국가 조성 제4차 (21-25) 치매관리종합계획』, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2023) 『第3次長期療養基本計画 (案) 2023-2027』保健福祉部。[보건복지부, 2023, 『제3차 장기요양기본계획 (안) 2023-2027』 보건복지부]
- 保健福祉部・国立中央医療院・中央認知症センター (2023) 『大韓民国認知症現況2022』保健福祉部・国立中央医療院・中央認知症センター。[보건복지부・국립중앙의료원・중앙치매센터, 2023, 『대한민국 치매현황 2022』, 보건복지부・국립중앙의료원・중앙치매센터]

---

#### 第4章 なぜ、公的扶助で「就労の場」の提供が進められてきたのか 金 碩浩

---

- イ・サンアほか (2021) 「自活事業の変化と発展法案」韓国自活福祉開発院。[이상아 외, 2021, 「자활사업의 변화와 발전방안」, 한국자활복지개발원]
- イ・ホヨン／ソン・ヨンファ (2013) 「韓国社会の構造的な変化と社会保障政策」『法と政策研究』13 (4): 1469-1494。[이호영/손영화, 2013, 「한국사회의 구조적 변화와 사회보장정책」『법과 정책연구』13 (4), 1469-1494]
- キム・ジョンイル (2006) 「1990年代以降の韓国経済における構造変化と雇用問題」『韓国経済の分析』12 (2): 1-48。[김종일, 2006, 「1990년대 이후 한국경제의 구조변화와 고용문제」『한국경제의 분석』12 (2), 1-48]
- キム・ジョンウォン (2012) 「自活事業と社会的経済」(第5次忠南社会的経済コロキウム発表資料)。[김정원, 2012, 「자활사업과 사회적경제」(제5차 충남사회적경제 콜로키움 발표자료)]
- キム・スンオ (2009) 「モデル事業の段階: 自活事業の制度化初期」『自活事業15周年記念白書——自活運動の歴史と哲学』自活政策研究所。[김승오, 2009, 「사업사업단계: 자활사업 제도화 초기」『자활사업 15주년 기념백서: 자활운동의 역사와 철학』, 자활정책연구소]
- キム・ミゴン (2005) 「ソーシャルセキュリティーネットとしての国民基礎生活保障制度の成果と限界」『2005国民基礎生活保障制度施行5周年評価シンポジウム資料集』韓国保健社会研究院国民基礎生活保障制度評価センター・保健福祉部。[김미곤, 2005, 「사회안전망으로

- 서의 국민기초생활보장제도의 성과와 한계」『2005국민기초생활보장제도 시행 5주년 평가 심포지엄 자료집』, 한국보건사회연구원 국민기초생활보장제도평가센터·보건복지부]
- キム・ミゴン (2010) 「国民基礎生活保障制度の發展過程と成果」『実質的には生活保障のための貧困政策の模索——国民基礎生活保障制度の過去, 現在, 未来』韓国保健社会研究院。[김미곤, 2010, 「국민기초생활보장제도 발전과정과 성과」『실질적 생활보장을 위한 빈곤정책의 모색 국민기초생활보장제도의 과거, 현재, 미래』, 한국보건사회연구원]
- シン・ミョンホ/キム・ホンイル (2002) 「生産共同体運動の歴史と自活支援事業」『動向と展望』通卷53号: 6-37。[신명호/김홍일, 2002, 「생산공동체운동의 역사와 자활지원사업」『동향과 전망』통권53호, 6-37]
- ジョン・ギョンベ (1999) 「特別寄稿 生産的福祉と積極的福祉政策」韓国保健社会研究院。『保健社会研究』19 (1): 3-61。[정경배, 1999, 「특별기고 생산적 복지와 적극적 복지정책」, 『보건사회연구』19 (1), 3-61]
- ソク・ゼウン/キム・テワン (2002) 「貧困および所得分配動向——1996~2002年 2 / 4 分期」『保健福祉フォーラム』第74号: 127-137。[석재은/김태완, 2002, 「빈곤 및 소득분배 동향: 1996~2002년 2 / 4 분기」, 한국보건사회연구원 『정책동향』, 제74호, 127-137]
- チャン・ウォンボン (2008) 「新しい雇用戦略としての社会的経済——労働統合社会的企業を中心に」韓国保健社会研究院『保健福祉フォーラム』第144号: 53-63。[장원봉, 2008, 「새로운 고용전략으로서 사회적 경제: 노동통합사회적기업을 중심으로」, 『보건복지포럼』제 144호, 55-63]
- ノ・デミョン (2010) 「自活事業, 10年の評価および展望」韓国保健社会研究院『保健福祉フォーラム』2010年 9 月: 14-27。[노대명, 2010, 「자활사업 10년의 평가 및 전망」, 『보건복지포럼』2010년 9 월, 14-27]
- ノ・デミョンほか (2010) 『自活政策に対する評価および發展方向』韓国保健社会研究院。[노대명 외, 2010, 「자활정책에 대한 평가 및 발전방향」, 한국보건사회연구원]
- パク・ジュンギョン/キム・ジョンホ (1992) 『構造変化と雇用問題』韓国開発研究院。[박준경/김정호, 1992, 「구조변화와 고용문제」, 한국개발연구원]
- パク・ユンヨン (2002) 「国民基礎生活保障法制定過程に関する研究」『韓国社会福祉学』第49号: 264-295。[박윤영, 2002, 「국민기초생활보장법 제정과정에 관한 연구」『한국사회복지학』제49호, 264-295]
- 保健福祉部 (各年度) 「保健福祉白書」保健福祉部。[보건복지부, 각년도, 「보건복지백서」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2023) 「2023年自活事業の案内」保健福祉部。[보건복지부, 2023, 「2023년 자활사업안내」, 보건복지부]
- ムン・ジンヨン (1998) 「国民基礎生活保障法制定の争点と運営方案に関する研究」『韓国社会福祉学』第38卷: 100-125。[문진영, 1998, 「국민기초생활보장법 제정의 쟁점과 운영방안에 관한 연구」, 『한국사회복지학』제38권, 100-125]
- ムン・ヒョンギョン/ユ・ギョンジュン (1999) 「失業, 福祉対策の今後の運営方向——生産的福祉を中心に」KDI政策フォーラム。[문형균/유경준, 1999, 「실업, 복지대책의 향후운영방향: 생산적 복지를 중심으로」KDI 정책포럼]
- ユ・ギョンジュン (2009) 「わが国の貧困変化の推移と要因分析」『KDI政策フォーラム』第215: 1-13。[유경준, 2009, 「우리나라 빈곤변화 추이와 요인 분석」『KDI 정책포럼』제 215호, 1-13]

ヨ・ユジンほか(2004)『公的扶助の価値基盤と制度的反映——国民基礎生活保障制度の形成過程を中心に』韓国保健社会研究院。[여유진 외, 2004, 『공공부조의 가치기반과 제도적 반영: 국민기초생활보장제도의 형성과정을 중심으로』, 한국보건사회연구원]

## 第5章 なぜ、社会的経済政策が進められてきたのか

呉 世雄

イ・サンユン/ユン・ギルスン/イ・ソンヒ/パク・サンソン(2022)「文在寅政府の社会的経済政策研究——社会的経済生態系の観点から」『韓国協同組合研究』40(1): 39-70。[이상윤/윤길순/이선희/박상선, 2022, 「문재인 정부의 사회적경제 정책 연구: 사회적경제 생태계 관점에서」, 『한국협동조합연구』 제40권 1호: 39-70]

イ・ジェヒ(2021)『社会的経済の協力活性化の類型および特性の研究』韓国社会的企業振興院。[이재희, 2021, 「사회적경제 협력 활성화 유형 및 특성 연구」, 한국사회적기업진흥원]

關係部署合同(2021)『文在寅政府の社会的経済政策まとめ集』韓国社会的企業振興院。[관계부처합동, 2021, 『문재인 정부 사회적경제 정책모음집』, 한국사회적기업진흥원]

韓国保健社会研究院(2022)『保健福祉分野の仕事を先んずる労働市場成果』韓国保健社会研究院。[한국보건사회연구원, 2022, 『보건복지분야 일자리의 노동시장 성과』, 한국보건사회연구원]

カン・ヘギュほか(2010)『保健福祉分野の雇用現状および創出戦略——先進国の社会福祉部門の雇用水準および制度要因分析を中心に』保健福祉部・韓国保健社会研究院。[강혜규 외, 2010, 『보건복지분야 고용현황 및 창출전략: 선진국의 사회복지부문 고용수준 및 제도요인분석을 중심으로』, 보건복지부·한국보건사회연구원]

キム・ハクシル(2017)「社会的経済の制度化過程に対する批判的談論分析——社会的経済基本法(案)の立法過程を中心に」『社会的経済と政策研究』7(1): 27-61。[김학실, 2017, 「사회적 경제 제도화 과정에 대한 비판적담론 분석: 사회적 경제기본기본법(안) 입법 과정을 중심으로」, 『사회적경제와 정책연구』 제7권 1호, 27-61]

雇用政策委員会・關係部署合同(2017a)『雇用政策5年ロードマップ』雇用政策委員会・關係部署合同。[일자리정책위원회/관계부처합동, 2017a, 『고용정책 5년 로드 맵』, 일자리정책위원회/관계부처합동]

雇用政策委員会・關係部署合同(2017b)『社会的経済活性化方案』雇用政策委員会・關係部署合同。[일자리정책위원회/관계부처합동, 2017b, 『사회적경제활성화방안』, 일자리정책위원회/관계부처합동]

雇用労働部(2010)『2010年版雇用労働白書』雇用労働部。[고용노동부, 2010, 「2010년판 고용노동백서」, 고용노동부]

チャン・ウォンボン(2009)「韓国社会的企業の実態と展望」『動向と展望』75: 47-73。[장원봉, 2009, 「한국 사회적 기업의 실태와 전망」, 『동향과 전망』 제75권, 47-73]

ノ・デミョン(2005)「社会サービス部門の雇用創出方案に関する研究——社会的仕事事業の改編を中心に」『保健社会研究』25(2): 37-81。[노대명, 2005, 「사회서비스부문 고용창출 방안에 대한 연구: 사회적 일자리 사업 개편을 중심으로」, 『보건사회연구』 제25권 2호, 37-81]

ヨム・チャンヒ(2021)「社会的経済基本法制定の漂流理由——行為者ネットワーク理論による

分析』『地域発展研究』30(3): 129-165。[염찬희, 2021, 「사회적경제기본법 제정 표류 이유: 행위자 네트워크 이론으로 분석」『지역발전연구』제30권 3호, 129-164]

## 第6章 なぜ、高齢者貧困が深刻化するのか

李 省翰

- 이·신애/ファン・ウォンギョン/チョン·스뽀판 (2022) 『韓国の単身世帯報告書』 KB經營研究所。[이신애/황원경/정승환, 2022, 『한국 1인가구보고서』 KB經營연구소]
- 이·스뽀히 (2023) 「所得と資産で分析した老人貧困と政策方向」『KDI FOCUS』 Vol.12: 1-11。[이승희, 2023, 「소득과 자산으로 진단한 노인빈곤과 정책방향」, 『KDI FOCUS』 Vol.123, 1-11]
- 韓國經濟研究院 (2019) 『高齢者社会の世代間特性分析及と高齢者貧困の緩和に対する示唆』韓國經濟研究院員。[한국경제연구원, 2019, 『고령화시대의 세대간 특성분석과 고령자빈곤의 완화에 대한 시사』, 한국경제연구원]
- キム·ドギユン (2018) 『韓國福祉資本主義の歴史——資産基盤福祉の形成と変化』ソウル大学出版文化院。[김도균, 2018, 『한국 복지자본주의의 역사: 자산기반복지의 형성과 변화』, 서울대학교출판문화원]
- グォン·ヒョクチョル (2019) 「高齢者単身世帯の社会的孤立と貧困に関する質的研究」『社会科学硏究』26(3): 135-160。[권혁철, 2019, 「독거노인의 사회적 고립과 빈곤에 관한 질적연구」『사회과학연구』26(3), 135-160]
- KB經營研究所 (2022) 『韓国の単身世帯報告書』KB經營研究所。[KB經營연구소, 2022, 「한국의 1인가구 보고서」 KB經營연구소]
- ジョン·ヒョンサン (2023) 「高齢者単身世帯及び高齢者世帯の家計所得と労働市場の特徴」『KLIパネルブリーフ』 Vol.25: 1-10。[정현상, 2023, 「노인 1인가구 및 노인 부부가구의 가구소득과 노동시장 특징」, 『KLI패널브리프』 Vol. 25, 1-10]
- 統計庁 (2017) 「2016年人口住宅総調査」統計庁。[통계청 (2017) 「2016년 인구주택총조사」, 통계청]
- 統計庁 (2022) 「2023高齢者統計」統計庁。[통계청, 2022, 「2023고령자통계」, 통계청]
- 統計庁 (2017-2022) 『家計金融調査』統計庁。[통계청, 2017-2022, 「가계금융복지조사」, 통계청]
- ナン·ゼリヤン/オ·ゲテク/이·스뽀호 (2022) 「人口構造変化と雇用政策の課題」『月刊労働リビュー』2022年4月号: 7-12。[남재량/오계택/이승호, 2022, 「인구구조 변화와 고령자 고용정책 과제」, 『월간노동리뷰』2022년 4월호, 7-12]
- ヨ·ユジン (2019) 「韓国の高齢者貧困と老後の所得保障」『保健・福祉Issue & Focus』 Vol.364: 1-8。[여유진, 2019, 「한국의 노인빈곤과 노후소득보장」『보건·복지 Issue & Focus』 Vol.364, 1-8]

## 第7章 なぜ、高齢者の孤独死を防止できたのか

鄭 熙聖

- 이·진아 (2013) 「日本の経験からみた孤独死予防と対策に関する探索」『地域と世界 (旧・社会科学硏究)』37(3): 63-86。[이진아, 2013, 「일본의 경험을 통해서 본 고독사 예방과 대책에 관한 탐색」, 『지역과 세계 (구 사회과학연구)』제37권제 3호, 63-86]

- 이·스진/호·쥬ン (2022) 「我が国の老人個別型統合サービスの体系の実態分析と政策課題」『地方政府研究』26 (1): 195-224. [이수진/허용훈, 2022, 「우리나라 노인맞춤돌봄서비스 체계의 실태분석과 정책과제」, 『지방정부연구』 제26권제 1 호, 195-224]
- 이·미에 (2012) 「日本社会における高齢者の死の文化変容——個人化する死‘孤独死’を中心に」『日本學報』第93号: 339-350. [이미에, 2012, 「일본사회 고령자의 죽음의 문화변용: 개인화하는 죽음『고독사(孤獨死)』를 중심으로」, 『日本學報』 제93호, 339-350]
- 이·민홍/칸·운나/이·세쥬ン (2013) 「老人見守り基本サービスの効果性の分析——抑うつ, セルフ・ネグレクト, そしてソーシャル・ネットワークを中心に」『韓国老年学』33 (4): 787-803. [이민홍/강은나/이재정, 2013, 「노인돌봄기본서비스의 효과성 분석: 우울, 자기방임, 그리고 사회적 관계망을 중심으로」, 『한국노년학』 제33권제 4 호, 787-803]
- 칸·기쥬올/손·쥬ン (2017) 「孤独死の統計に関する韓日比較研究」『日本文化研究』第61号: 5-25. [강기철/손종윤, 2017, 「고독사 통계에 대한 한일 비교 연구」, 『日本文化研究』 제61호, 5-25]
- 關係省庁合同 (2023) 「第1次孤独死予防基本計画 (2023~27年)」關係省庁合同. [관계부처합동, 2023, 「제1차 고독사 예방 기본계획 (2023~27년)」, 관계부처합동]
- 김·유진 (2022) 「RE-AIM의 枠組みの活用を試みた孤独死・自殺予防事業の実施過程と成果」『韓国社会福祉行政学』24 (3): 1-35. [김유진, 2022, 「RE-AIM 틀을 활용하여 살펴본 고독사·자살 예방사업의 시행과정과 성과」, 『한국사회복지행정학』 제24권제 3 호, 1-35]
- 김·윤신/이·철민/남·궁선주/김·혜경 (2011) 「独居老人の孤独死予防のための地域連絡網の効果性研究」『社会科学研究』50 (2): 143-169. [김윤신/이철민/남궁선주/김혜경, 2011, 「독거노인 고독사 예방을 위한 지역연락망의 효과성 연구」, 『사회과학연구』 제50권제 2 호, 143-169]
- 김·유진/박·스민 (2021) 「老人個別型統合サービスにおける専担社会福祉士の職務能力に影響する要因に関する研究: 個人力量と組織力量の要因を中心に」『保健医療産業学会誌』15 (4): 107-119. [김유진/박스민, 2021, 「노인맞춤돌봄서비스 전담사회복지사 직무역량 영향요인에 관한 연구: 개인역량과 조직역량 요인을 중심으로」, 『보건의료산업학회지』 제15권제 4 호, 107-119]
- گون·쥬ndon (2010) 「孤独死予防のための老人見守りサービスの強化方案」『(討論会資料集) 老人孤独死は防げないか』: 51-69. [권중돈, 2010, 「고독사 예방을 위한 노인돌봄서비스 강화 방안」, 『토론회 자료집 노인 고독사, 막을 수 없나』, 51-69]
- гон·히옌난 (2013) 「高齢化時代の老人孤独死問題における倫理的反省」『人文科学研究論叢』34 (1): 245-277. [권혁남, 2013, 「고령화시대 노인 고독사 문제에 대한 윤리적 반성」, 『인문과학연구논총』 제34권제 1 호, 245-277]
- 쥬ン·옌호 (2015) 「老人見守りサービスの伝達体系に関する研究——公共部門の人力と供給者の観点を中心に」『保健社会研究』35 (2): 347-379. [전용호, 2015, 「노인 돌봄서비스의 전달체계에 관한 연구: 공공부문 인력과 공급자의 관점을 중심으로」, 『보건사회연구』 제35권제 2 호, 347-379]
- 쥬ン·옌호/이·소크판 (2022) 「老人個別型統合サービスの導入初期の 이슈に関する質的研究」『老人福祉研究』77 (1): 225-252. [전용호/이석환, 2022, 「노인맞춤돌봄

- 서비스의 도입 초기 이슈에 대한 질적연구, 『노인복지연구』 제77권제 1호, 225-252]
- チェ・ウソク (2022) 「孤独死の予防と対策に関する法制的考察——日本の法制を中心に」 『Ikam Law Review』 第51号, 29-57. [채우석, 2022, 「고독사 예방과 대책에 관한 법제적 고찰: 일본의 법제를 중심으로」, 『일감법학』 제51호, 29-57]
- チェ・スンホ/ゾ・ビョンチョル/ジョン・スンファン (2017) 「老人孤独死をどのようにに対応するか? ——自己決定論的観点から」 『韓国学研究』 第62号, 403-436. [최승호/조병철/전승환, 2017, 「노인 고독사 어떻게 대응할 것인가?: 자기 결정론적 관점에서」, 『한국학 연구』 제62호, 403-436]
- 独居老人総合支援センター (2022) 『2022老人個別型統合サービス満足度調査報告書』 2022.12. [독거노인종합지원센터, 2022, 「2022 노인맞춤돌봄서비스 만족도 조사 보고서」, 2022.12]
- ファン・ギョラン/チェ・ソンウン (2021) 「老人個別型統合サービスの運営に関する京畿道の現況分析研究」 京畿福祉財団. [황경란/최성은, 2021, 「노인맞춤돌봄서비스 운영에 관한 경기도 현황분석 연구」, 경기복지재단]
- 保健福祉部 (2010) 「老人見守り基本サービスの発展方案の模索」 保健福祉部. [보건복지부, 2010, 「노인돌봄기본 서비스의 발전방안 모색」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2012) 「独居老人総合支援対策」. [보건복지부, 2012, 「독거노인 종합지원대책」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2017) 「2017年老人保健福祉事業案内」. [보건복지부, 2017, 「2017년 노인보건복지 사업안내」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2022) 「(報道資料) 2022年孤独死実態調査結果発表——最近5年(2017~21年)孤独死発生状況等最初調査実施」. [보건복지부, 2022, 「(보도자료) 2022년 고독사 실태조사 결과 발표: 최근 5년(2017년~21년) 고독사 발생 현황 등 최초 조사 실시」, 보건복지부] ([https://www.mohw.go.kr/react/al/sal0301vw.jsp?PAR\\_MENU\\_ID=04&MENU\\_ID=0403&CONT\\_SEQ=374084](https://www.mohw.go.kr/react/al/sal0301vw.jsp?PAR_MENU_ID=04&MENU_ID=0403&CONT_SEQ=374084))
- 保健福祉部 (2023) 「2023年老人個別型統合サービスの事業案内」 保健福祉部. [보건복지부, 2023, 「2023년 노인맞춤돌봄서비스 사업안내」, 보건복지부]
- ヤン・ナンジュウ (2019) 「韓国老人見守りサービスの制度的配列——見守りサービスの公式化を中心に」 『動向と展望』 106: 268-302. [양난주, 2019, 「한국 노인돌봄의 제도적 배열: 돌봄의 공식화를 중심으로」, 『동향과 전망』 제106호, 268-302]

## 第8章 なぜ、長期療養保険制度下に介護予防事業が存在しないのか 金 美辰

- ジョ・チュヨン/パク・ソンエ/ジョン・ユンテ (2009) 「老人長期療養保険と地域資源の活用方案に関する研究」 『韓国ケアマネジメント研究』 Vol2: 127-162. [조추용/박선애/정윤태, 2009, 「노인장기요양보험에서 지역자원의 활용방안에 관한연구」, 『한국케어메니지먼트연구』 제12권, 127-162]

## 第9章 なぜ、少子化対策は効果がないのか 金 成垣

- 育児政策研究所 (2022) 『乳幼児主要統計』 育児政策研究所. [육아정책연구소, 2022, 『영유아

주요 통계], 육아정책연구소]

- 韓国經營者總協會 (2021) 『我が国の賃金現況分析および国際比較』韓国經營者總協會。[한국경영자총협회, 2021, 『우리나라 임금 현황 분석 및 국제비교』, 한국경영자총협회]
- 国家予算政策処 (2021) 『低出産対応事業分析・評価』国家予算政策処。[국가예산정책처, 2021, 『저출산 대응 사업 분석·평가』, 국가예산정책처]
- 大韓民国政府 (2005) 『第1次低出産高齢社会基本計画 (2006-2010年)』保健福祉部。[대한민국정부, 2005, 『제1차 저출산 고령사회 기본계획 (2006-2010년)』, 보건복지부]
- 大韓民国政府 (2010) 『第2次低出産高齢社会基本計画 (2011-2015年)』保健福祉部。[대한민국정부, 2010, 『제2차 저출산 고령사회 기본계획 (2011-2015년)』, 보건복지부]
- 大韓民国政府 (2015) 『第3次低出産高齢社会基本計画 (2016-2020年)』保健福祉部。[대한민국정부, 2015, 『제3차 저출산 고령사회 기본계획 (2016-2020년)』, 보건복지부]
- 大韓民国政府 (2020) 『第4次低出産高齢社会基本計画 (2021-2025年)』保健福祉部。[대한민국정부, 2020, 『제4차 저출산 고령사회 기본계획 (2021-2025년)』, 보건복지부]
- ベ・ジョンウォン (2023) 『まだ何も分かっていない少子化対策』『示唆ジャーナル』1772号。[배정원, 2023, 『아직도 제대로 맥도 못 짚는 저출산 정책』, 『시사저널』 1772호]

---

## 第10章 なぜ、養育費履行確保制度の強化は可能だったのか

姜 民護

- イ・ビアン (2020) 「養育費履行確保および支援に関する法律上の運転免許停止と不当な権限の融合原則——アメリカ連邦・州法院の実体的デュープロセスを中心に」『美國憲法研究』第31卷第3号: 239。[이비안, 2020, 「양육비 이행 확보 및 지원에 관한 법률상 운전면허제한과 부당결부금지 원칙: 미국 연방·주 법원의 실제적 적법절차심사를 중심으로」 『미국헌법연구』 31 (3): 239]
- 国会事務処 (2005.11.22) 『第256回法制司法委員会會議録』第15号。[국회사무처, 2005.11.22, 『제256회 법제사법위원회 회의록』 제15호]
- 国会事務処 (2012.11.9) 『第311回女性家族委員会會議録』第4号。[국회사무처, 2012.11.9, 『제311회 여성가족위원회 회의록』 제4호]
- 国会事務処 (2013.4.19) 『第315回女性家族委員会會議録』第2号。[국회사무처, 2013.4.19, 『제315회 여성가족위원회 회의록』 제2호]
- 国会事務処 (2014.2.27) 『第322回法制司法委員会會議録』第6号。[국회사무처, 2014.2.27, 『제322회 법제사법위원회 회의록』 제6호]
- 国会事務処 (2015.11.13) 『第337回女性家族委員会會議録』第3号。[국회사무처, 2015.11.13, 『제337회 여성가족위원회 회의록』 제3호]
- 国会事務処 (2015.11.16) 『第337回女性家族委員会法案審査小委員会會議録』第1号。[국회사무처, 2015.11.16, 『제337회 여성가족위원회 법안심사소위원회 회의록』 제1호]
- 国会事務処 (2018.2.27) 『第356回法制司法委員会法案審査第2小委員会會議録』第1号。[국회사무처, 2018.2.27, 『제356회 법제사법위원회 법안심사제2소위원회 회의록』 제1호]
- 国会事務処 (2019.3.29) 『第367回女性家族委員会會議録』第1号。[국회사무처, 2019.3.29, 『제367회 여성가족위원회 회의록』 제1호]
- 国会事務処 (2019.6.27) 『第369回女性家族委員会法案審査小委員会會議録』第2号。[국회사무처, 2019.6.27, 『제369회 여성가족위원회 법안심사소위원회 회의록』 제2호]

- 国会事務処 (2019.11.29) 『第371回女性家族委員会法案審査小委員会会議録』第1号。[국회사무처, 2019.11.29, 『제371회 여성가족위원회 법안심사소위원회 회의록』 제1호]
- 国会事務処 (2020.5.6) 『第377回女性家族委員会法案審査小委員会会議録』第1号。[국회사무처, 2020.5.6, 『제377회 여성가족위원회 법안심사소위원회 회의록』 제1호]
- 国会事務処 (2020.5.20) 『第378回法制司法委員会會議録』第1号。[국회사무처, 2020.5.20, 『제378회 법제사법위원회 회의록』 제1호]
- 国会事務処 (2020.9.15) 『第382回女性家族委員会會議録』第3号。[국회사무처, 2020.9.15, 『제382회 여성가족위원회 회의록』 제3호]
- 国会事務処 (2020.12.8) 『第382回法制司法委員会會議録』第14号。[국회사무처, 2020.12.8, 『제382회 법제사법위원회 회의록』 제14호]
- ホ・ミンスク (2023) 「養育費立替制度の海外運営事例：児童貧困の解消と養育費履行の強化による二つの期待効果」『NASR懸案分析』第290号：4。[허민숙, 2023, 「양육비 대지급제 해외 운영 사례: 아동빈곤 해소와 양육비 이행 강화의 두 가지 기대효과」, 『NASR 현안분석』 290: 4]
- ユン・ジョンズ (2021) 「社会保障の観点からみる養育費履行確保制度の法的課題」『社会保障研究』第10巻第1号：1-63。[윤지영, 2021, 「사회보장의 관점에서 본 양육비이행확보제의 법적과제」『사회보장연구』 10 (1): 1-63]

## 第11章 なぜ、政治は障害者運動に反応したのか

孔 栄鍾

- イ・サンジク (2022) 「障害者運動20年，障害立法20年：『移動権』から『脱施設』へ」『国家未来戦略 Insight』 37号：1-37。[이상직, 2022, 「장애인 운동 20년, 장애 입법 20년: ‘이동권’에서 ‘탈시설’로」, 『국가미래전략 Insight』 37호, 1-37]
- イ・ソク (2015) 「国連障害者権利条約の履行現況と課題」『月間福祉動向』第197号：26-31。[이석구, 2015, 「유엔 장애인권리협약 이행현황과 과제」, 『월간 복지동향』 제197호, 26-31]
- イ・ドンソク (2020) 「障害者政治勢力化側面での21代総選評価と今後の課題」『韓国障害者福祉学』第49巻：59-82。[이동석, 2020, 「장애인 정치세력화 측면에서의 21대 총선 평가와 향후 과제」, 『한국장애인복지학』 제49권, 59-82]
- ウェルフェアニュース, 「人權委『国連障害者権利委79項目勧告…最終見解尊重, 履行促す』, 2022年9月28日付。[헬페어뉴스, 「인권위 “유엔 장애인권리위 79개 권고... 최종견해 존중, 이행 촉구”」, 2022년 9월 28일] (<https://www.welfarenews.net/news/articleView.html?idxno=86383>, 最終アクセス2023.12.13)
- SBS PREMIUM SP, 「出道道を塞いだ全障連デモ, この30分が変えたこと」, 2023年9月3日付。[스브스프리미엄 스프, 「출근길을 막아선 전장연 시위, 그 30분이 바꾼 것」, 2023년 9월 3일] (<https://premium.sbs.co.kr/article/LplXx2mkrsl>, 最終アクセス2023.12.13)
- 韓国ギャラップ・デイリー・オピニオン, 「第546号2023年6月第3週——兩大政党代表役割評價」, 2023年6月16日付。[한국갤럽 데일리 오피니언, 「제546호 2023년 6월 3주-양대 정당 대표 역할 평가」, 2023년 6월 16일] (<https://www.gallup.co.kr/gallupdb/reportContent.asp?seqNo=1399>, 最終アクセス2023.12.13)
- 韓国障害者団体総連合会, 「[外部コラム] (アン・ジンファン) 障害者政治参与と政治勢力化の

- 究極的な目的], 2010年4月6日付。[한국장애인단체총연합회, 「[외부칼럼] (안진환) 장애인 정치참여와 정치세력화의 궁극적인 목적」, 2010년 4월 6일] ([http://m.kofod.or.kr/bbs\\_shop/read.htm?board\\_code=sub2\\_3&idx=30014](http://m.kofod.or.kr/bbs_shop/read.htm?board_code=sub2_3&idx=30014), 最終アクセス2023.12.13)
- 韓国障害者団体総連盟, 「21代国会議員選挙, 障害者有権者参政権はどのくらい保障されるか?」『障害者政策レポート』第393号, 2020年3月20日付。[한국장애인단체총연맹, 「21대 국회의원 선거, 장애인유권자 참정권은 얼마나 보장될까?」『장애인정책리포트』 제393호, 2020년 3월 20일] ([http://kodaf.or.kr/bbs/board.php?bo\\_table=B21&wr\\_id=503](http://kodaf.or.kr/bbs/board.php?bo_table=B21&wr_id=503), 最終アクセス2023.12.15)
- 韓国日報, 「嫌悪ショーに終わったとしても…イ・ジュンсок——全障連の討論が残したもの」, 2022年5月14日付。[한국일보, 「혐오쇼에 그쳤다 해도... 이준석-전장연 토론이 남긴 것」, 2022년 5월 14일] (<https://m.hankookilbo.com/News/Read/A2022051214050002282>, 最終アクセス2023.12.13)
- 韓国日報, 「88%가全障連要求支持, デモは61%のみ共感」, 2022年7月2日付。[한국일보, 「88%가 전장연 요구 지지, 시위는 61%만 공감」, 2022년 7월 2일] (<https://m.hankookilbo.com/News/Read/A2022062917550005889>, 最終アクセス2023.12.13)
- キム・ソンヒほか(2020)『2020年障害者実態調査』韓国保健社会研究院。[김성희 외, 2020, 『2020년 장애인 실태조사』, 한국보건사회연구원]
- キム・ドヒョン(2007a)『差別に抵抗せよ——韓国における障害者運動20年, 1987-2006年』パク・ジョンチョル出版社。[김도현, 2007, 『차별에 저항하라: 한국의 장애인 운동 20년, 1987-2006년』, 박종철출판사]
- キム・ドヒョン(2007b)『歴史的流れを通してみる障害者運動と国家』『進歩評論』第34号: 47-61。[김도현, 2007, 「역사적 흐름을 통해 본 장애인운동과 국가」, 『진보평론』 제34호, 47-61]
- キム・ヒョンジほか(2023)『2023障害統計年報』韓国障害者開発院。[김현지 외, 2023, 『2023 장애통계연보』, 한국장애인개발원]
- 京郷新聞, 「[選択議定書, 14年ぶりに批准]: 障害者-UN陳情要請通路設けられ」, 2022年12月9日付。[경향신문, 「"선택의정서 14년 만에 오셨네": 장애인-UN 진정 요청 통로 생겨」, 2022년 12월 9일] (<https://m.khan.co.kr/national/national-general/article/202212091821001#c2b>, 最終アクセス2023.12.14)
- 国民日報, 「イジュンсок-全障連『地下のデモ』衝突: 代わりにひざまずいたキムイェジ」, 2022年3月29日付。[국민일보, 「이준석-전장연 "지하철 시위" 충돌: 대신 무릎 꿇은 김예지」, 2022년 3월 29일] (<https://www.kmib.co.kr/article/view.asp?arcid=0924238084>, 最終アクセス2023.12.14)
- 時事IN, 「[インタビュー] キム・イェジ委員がひざまずいた理由」, 2022年4月8日付。[시사IN, 「[인터뷰] 김예지 의원이 무릎을 꿇은 이유」, 2022년 4월 8일] (<https://www.sisain.co.kr/news/articleView.html?idxno=47228>, 最終アクセス2023.12.14)
- 時事IN, 「全障連代表はなぜTV討論に出るのが願いだっただのか」, 2022年4月26日付。[시사IN, 「전장연 대표는 왜 TV 토론에 나가는 게 소원이었을까」, 2022년 4월 26일] (<https://www.sisain.co.kr/news/articleView.html?idxno=47304>, 最終アクセス2023.12.13)
- 内外経済TV, 「『舌戦ライブ』イジュンсок・パクギョソンク生放送討論に視聴者関心『集中』」, 2022年4月14日付。[내외경제TV, 「'썰전라이브' 이준석·박경석 생방송 토론에

- 시청자 관심 '집중', 2022년 4월 14일] (<https://www.nbntv.co.kr/news/articleView.html?idxno=966299>, 最終アクセス2023.12.13)
- NOCUTNEWS, 「[ 포토 이준석-박경석 토론 ], 2022년 4월 13일付. [노컷뉴스, 「[ 포토 이준석-박경석 토론 ], 2022년 4월 13일] (<https://www.nocutnews.co.kr/news/5739617>, 最終アクセス2024.10.18)
- 한ギョレ, 「[ 김·미·인·인·인·인 ] 20世紀先進国 vs 21世紀先進国, 2021년 7月30日付. [한겨레, 「[ 김명인 칼럼 ] 20세기 선진국 vs 21세기 선진국, 2021년 7월 30일] (<https://www.hani.co.kr/arti/opinion/column/1005831.html>, 最終アクセス2023.12.13)
- 박·준·현 / 류·현·숙·외 (2023) 『政治兩極化時代の韓國民主主義の發展方案』 經濟·人文社会研究会協同研究叢書第23-14-01. [박준·류현숙 외, 2023, 「정치양극화 시대 한국 민주주의의 발전 방안」 경제·인문사회연구회 협동연구총서23-14-01]
- 박·찬·송 (2021) 「基本權としての障害者の移動權」 『法学論叢』 第38卷第4号: 77-110. [박창석, 2021, 「기본권으로서의 장애인의 이동권」, 『법학논총』 제38권 제4호, 77-110]
- BEMINOR, 「[全文] 韓國の国連障害者權利条約履行2・3次報告に対する国連最終見解, 2022年10月18日付. [비마이너, 「[전문] 한국의 유엔장애인권리협약 이행 2·3차 보고에 대한 유엔 최종견해, 2022년 10월 18일] (<https://www.beminor.com/news/articleView.html?idxno=24057>, 最終アクセス2023.12.14)
- 윤·수·정 (2023) 「障害者移動權保障と憲法裁判」 『公法學研究』 第24卷第2号: 27-56. [윤수정, 2023, 「장애인 이동권 보장과 헌법재판」, 『공법학연구』 제24권 제2호, 27-56]

---

## 第12章 なぜ、在留外国人の福祉アクセシビリティ確保が推進されてきたのか 李 恩心

---

- 이·미·온 (2017) 「韓國社会の社会權發展における多文化主義——韓國の女性結婚移民者を対象とした多文化関連法案を中心に」 『地方自治法研究』 56 (17): 395-422. [이미영, 2017, 「한국사회 내에서의 사회권 발전에 있어서의 다문화주의: 한국의 여성결혼이민자 대상으로 한 다문화관련 법안 중심으로」, 『지방자치법연구』 56 (17), 395-422]
- 關係機關合同 (2023) 『第4次多文化家族政策基本計画(案)』. [관계기관합동, 2023, 『제4차 다문화가족정책기본계획(안)』]
- 韓國地方行政研究院 (2020) 「邑面洞出向く保健福祉チームの運営·改善方案——組織·人事·業務を中心に」. [한국지방행정연구원, 2020, 『읍면동 찾아가는 보건복지팀 운영 개선방안: 조직, 인사, 일하는 방식을 중심으로』] (<https://krila.re.kr/publication/periodical/brief/98?keyword=&page=3>, 2023.12.24)
- 김·조·원·세 (2019) 「多文化家族支援のための対象者範囲の問題点と改善方法」 『法學論叢』 36 (2): 71-94. [김종세, 2019, 「다문화가족지원을 위한 대상자 범위의 문제점과 개선방안」, 『法學論叢』 36 (2), 71-94]
- 行政安全部·保健福祉部 (2022) 「2022年住民自治型公共サービスの構築事業——出向く保健福祉サービスマニュアル」(行政安全部住民福祉サービス改変推進団). [행정안전부 보건복지부, 2022, 「2022년 주민자치형 공공서비스 구축사업: 읍면동 찾아가는 보건복지서비스 매뉴얼」(행정안전부 주민복지서비스개편추진단)]

- 雇用労働部・韓国雇用情報院 (2022) 『未来の仕事・世界の変化——中長期人材供給展望2020-2030』 53. [고용노동부·한국고용정보원, 2022, 『미래 일자리 세계의 변화: 중장기 인력 수급 전망 2020-2030』 53]
- ザン・ジュヨン／キム・スギョン (2020) 「少子高齢化社会の移民の移入と社会統合」(企画財政部)。[장주영/김수경, 2020, 『저출산 고령화시대의 이주민유입과 사회통합』(기획재정부)]
- シム・スノウ (2022) 「韓国の多文化主義と社会統合の課題」『統一と平和』 14 (2): 347-386. [심승우, 2022, 『한국의 다문화주의와 사회통합의 과제』, 『통일과 평화』 14 (2), 347-386]
- 女性家族部 (2022a) 『2022 家族事業案内 1』。[여성가족부, 2022, 『2022가족사업안내 1』]
- 女性家族部 (2022b) 『2021年全国多文化家族実態調査』。[여성가족부, 2022, 『2021년 전국 다문화가족 실태조사』]
- 女性家族部 (2022c) 『2021年国民多文化受容度調査』。[여성가족부, 2022, 『2021년 국민 다문화수용성 조사』]
- 女性家族部 (2023) 『2023 家族事業案内 1』。[여성가족부, 2023, 『2023가족사업안내 1』]
- チョン・ドンゼ／ユン・ヨングン／ヨム・ジソン (2022) 「デニズンシップを通じた在留外国人の社会統合方法」『韓国行政研究院』。[정동재/윤영근/염지선, 2022, 『데니즌십(Denizenship) 을 통한 체류 외국인의 사회통합 방안』 『한국행정연구원』]
- 法務部出入国外国人政策本部 (2021) 『第4次外国人政策基本計画策定のための研究(移民政策研究院)』。[법무부출입국외국인정책본부, 2021, 『제 4 차 외국인정책기본계획 수립을 위한 연구 (이민정책연구원)』]

---

### 第13章 なぜ、総合社会福祉館が地域福祉の担い手になったのか 崔 恩熙

---

- 安山市ブコク総合社会福祉館ホームページ。[안산시부곡종합사회복지관 홈페이지] (<http://www.bugokwelfare.or.kr>, 2023.12.09)
- イ・ヒョンズ／ユ・ジンヨン (2015) 『公共社会福祉の伝達体制の変化と政策的含意』 韓国保健社会研究院。[이현주·유진영, 2015, 『공공 사회복지 전달체계의 변화와 정책적 함의』, 한국보건사회연구원]
- オ・ジョンス／チェ・ヘギョン／ジョン・ヨンテク／リュウ・진소크／ユ・チェヨン (2010) 『社会福祉学概論 第3版』 ヤンソウォン。[오정수/최해경/정연택/류진석·유채영, 2010, 『사회복지학개론 제 3 판』, 양서원]
- 韓国社会福祉士協会ホームページ。[한국사회복지사협회 홈페이지] (<https://www.welfare.net/welfare/main.do>, 2023.12.09)
- キム・ヨンジョン (2015) 「韓国社会福祉館の制度的アイデンティティ究明に関する研究」『韓国社会福祉行政学』 17 (3): 27-56. [김영중, 2015 「한국 사회복지관 제도적 정체성 규명에 관한 연구」, 『한국사회복지행정학』 17 (3): 27-56]
- キム・ヨンジョン (2017) 「我が国の社会福祉伝達体系の談論的作用——歴史的形成と経路, 焦点——」『韓国社会福祉学』 69 (1): 175-197. [김영중, 2017, 「우리나라 사회복지 전달체계의 담론적 작용: 역사적 형성과 경로, 쟁점」, 『한국사회복지학』, 69 (1): 175-197]
- 經濟企画院 (1986) 『第6次经济社会发展5か年計画(要約)』。[경제기획원, 1986, 『제 6 차 경제사회발전 5 개년계획 (요약)』]

- ソウル市社会福祉館協会ホームページ。[서울시사회복지관협회 홈페이지] (<https://www.saswc.org>, 2023.12.09)
- 大韓民国政府『第6次經濟社会發展5か年計画(1988~1991)』。[대한민국정부, 『제6차경제사회발전5개년계획(1988~1991)』] (<https://www.kdevelopedia.org/Resources/view/04201501150136277.do>, 2023.12.09)
- チェ・ソンヒ(2014)「日帝強占期の地域社会福祉館の性格——隣保館と女子館を中心に」『韓国地域社会福祉学』49: 1-30。[최선희, 2014, 「일제강점기 지역사회복지기관의 성격: 인보관과 여자관을 중심으로」, 『한국지역사회복지학』 49, 1-30]
- パク・ミヨン/カン・ジソン/パク・ジヘ/イ・ミレ/ホン・ボヨン/キム・ドビ(2019)『福祉の中央——中央社会福祉館45周年』中央社会福祉館。[박미영/강지선/박지혜/이미래/홍보영/김도희, 2019, 『복지의 중앙: 중앙사회복지관 45주년』, 중앙사회복지관]
- 法制処・国家法令情報センター, 「社会福祉事業法, 社会福祉事業施行規則」。[법제처 국가법령정보센터「사회복지사업법, 사회복지사업시행규칙」] (<https://law.go.kr>, 2023.12.09)
- 保健福祉部(2023)『2023年社会福祉館運営関連業務処理案内』。[보건복지부『2023년 사회복지관 운영관련 업무처리 안내』]
- ユン・ホンシク(2019)『韓国福祉国家の起源と軌跡 2 反共開発国家福祉体制の形成——1945年から1980年まで』社会評論アカデミー。[윤홍식, 2019, 『한국복지국가의 기원과 궤적 2: 반공개발국가 복지체제의 형성, 1945년부터 1980년까지』, 사회평론아카데미]

#### 第14章 なぜ、農村ではマウル会館に高齢者が集まるのか

金 吾燮

- キム・ドンウォンほか(2012)「農村地域マウル会館の利用実態と示唆点」, 韓国農村經濟研究院, 26, 1-134。[김동원 외, 2012, 「농촌지역 마을회관의 이용 실태와 시사점」, 『한국농촌경제연구원』 제26권, 1-134]
- シン・ミョンソン/カン・ヨンウン/オ・ドンヨプ/イム・スンビン(2008)「農村のコミュニティ施設の造成及び管理のための問題点の導出及び改善策に関する研究」, 農村計画, 14(2): 43-54。[신명선/강영은/오동엽/임승빈, 2008, 「농촌마을 커뮤니티시설 조성 및 관리를 위한 문제점도출 및 개선방안 연구」 제14권 2호, 43-54]
- ソン・スンカン/イ・チュンミ(2008)「農漁村マウルの老人生活空間形成と変化に関する研究」『韓国居住学会』, 2008(1): 135-141。[송승광/이준미, 2008, 「농어촌 마을의 노인생활공간 형성과 변화에 관한 연구」, 『한국거주학회』 2008제1호, 135-141]
- ソン・ミリョン/パク・シヒョン(2001)「農村共同施設の効率的な活用方案研究」, 68, 韓国農村經濟研究院, 1-122。[송미령/박시현, 2001, 「농촌 공동시설의 효율적 활용방안 연구」, 『한국농촌경제연구원』 제68권, 1-122]
- チェ・ピョンスク/パク・ソンヒ/オ・チャンオクほか(2006)「農村マウル会館の老人福祉サービスとしての活用方案——平面と利用形態分析を中心として」『韓国農村建築学会』 8(2): 80-93。[최병숙/박선희/오찬욱/홍찬선/임상봉, 2006, 「농촌 마을회관의 복지 서비스 공간으로의 활용 방안: 평면과 이용행태 분석을 중심으로」, 『한국농촌건축학회』 제 8권 2호, 80-93]
- 統計庁(2016)「2015Census 農林行業総調査地域調査部分集計結果」統計庁: 1-30。[통계청, 2016, 「2015Census 농림업종조사지역조사부분집계결과」, 통계청, 1-30]

- 統計庁 (2022) 「2021年農林漁業調査結果」統計庁: 1-59. [통계청, 2022, 「2021년농림어업조사결과」, 통계청, 1-59]
- バク・ジンギョン (2022) 「地域の地方消滅危機と自生的対応戦略」『地域産業と雇用』2022春号: 35-49. [박진경, 2022, 「지역의 지방소멸 위기와 자생적 대응전략」, 『지역산업과 고용』2022봄호, 35-49]
- ベ・ヨンドン (2012) 「農村マウル会館を中心としたマウル共同体文化の再創造」, 『民俗学研究』30: 163-189. [배영동, 2008, 「농촌 마을회관을 중심으로 한 마을공동체 문화의 재창조」, 『민속학연구』 제30호, 163-169]
- リ・ビョンフン/김ム・ドン안/박ク・ヘ진/윤・ヨン소크 (2012) 「農村地域マウル会館利用活用度と満足度に関する決定要因分析」農村計画, 18 (4): 29-36. [이병훈/김동원/박혜진/윤영석, 2012, 「농촌지역 마을회관 이용 활용도와 만족도에 관한 결정요인 분석」, 『농촌계획』 제18권 4 호, 29-36]

## 第15章 なぜ、療養保護士の国家資格取得者が多いのか

任 セア

- 韓国保健社会研究院 (2019) 「人口構造の変化に対応した高齢者長期療養人材の中長期確保方策」韓国保健社会研究院. [한국보건사회연구원, 2019, 「인구구조 변화에 대응한 노인장기요양인력 증장기 확보 방안」, 한국보건사회연구원]
- 韓国保健社会研究院 (2022) 「2022年長期療養実態調査」韓国保健社会研究院. [한국보건사회연구원, 2022, 「2022년장기요양실태조사」, 한국보건사회연구원]
- 国民健康保険公団 (2008) 「老人長期療養保険制度の期待効果と社会的便益」(2008年6月30日). [국민건강보험공단, 2008, 노인장기요양보험제도의 기대효과와 사회적 편익, 국민건강보험공단보도자료] ([https://www.longtermcare.or.kr/npbs/cms/board/board/Board.jsp?searchType=TITLE&searchWord=%EC%82%AC%ED%9A%8C%EA%A0%81%20%ED%8E%B8%EC%9D%B5&list\\_start\\_date=&list\\_end\\_date=&pageSize=10&branch\\_id=&branch\\_child\\_id=&pageNum=1&list\\_show\\_answer=N&communityKey=B0010&boardId=1786&act=VIEW](https://www.longtermcare.or.kr/npbs/cms/board/board/Board.jsp?searchType=TITLE&searchWord=%EC%82%AC%ED%9A%8C%EA%A0%81%20%ED%8E%B8%EC%9D%B5&list_start_date=&list_end_date=&pageSize=10&branch_id=&branch_child_id=&pageNum=1&list_show_answer=N&communityKey=B0010&boardId=1786&act=VIEW), 最終アクセス2023年11月6日)
- 国会保健福祉委員会 (2011) 「2010年度国政監査結果報告書」国会保健福祉委員会. [국회보건복지위원회, 2011, 「2010년도국정감사결과보고서」 국회보건복지위원회]
- 保健福祉部 (2004) 「公的老人療養保健保障体系開発研究(要約本)」保健福祉部. [보건복지부, 2003, 「공적노인요양보장체계 개발연구(요약본)」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2008) 「老人保健福祉事業案内」保健福祉部. [보건복지부, 2008, 「노인보건복지사업안내」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2009) 「老人保健福祉事業案内」保健福祉部. [보건복지부, 2009, 「노인보건복지사업안내」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2010) 「老人保健福祉事業案内」保健福祉部. [보건복지부, 2010, 「노인보건복지사업안내」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2011) 「老人保健福祉事業案内」保健福祉部. [보건복지부, 2011, 「노인보건복지사업안내」, 보건복지부]
- 保健福祉部 (2023) 「療養保護士養成指針」保健福祉部. [보건복지부, 2023, 「요양보호사 양성지침」, 보건복지부]

ヤン・ナンジュほか(2020)「家族療養保護士制度の改善研究」保健福祉部・大邱大学校産学協力団。[양난주 외, 2020, 「가족인 요양보호사 제도개선 연구」, 보건복지부·대구대학교 산학협력단]

## 第16章 なぜ、「死の教育」関連の民間資格が急増したのか

孔 英珠

- オ・ジンタク(2009)「ウェルディング(死の準備)教育とは？」(翰林大学校死生学研究所ホームページ([https://www.lifendeath.or.kr/06\\_date/index.php?mode=AD001&page=9&search=&strsearch=&cate=&PN=6&SN=1&work=view&idx=699&ckattempt=1](https://www.lifendeath.or.kr/06_date/index.php?mode=AD001&page=9&search=&strsearch=&cate=&PN=6&SN=1&work=view&idx=699&ckattempt=1)))。[閲覧日は2023年12月3日] [오진탁, 2009, 「웰다잉(죽음준비) 교육이란?」, (한림대학교 사생학연구소 홈페이지([https://www.lifendeath.or.kr/06\\_date/index.php?mode=AD001&page=9&search=&strsearch=&cate=&PN=6&SN=1&work=view&idx=699&ckattempt=1](https://www.lifendeath.or.kr/06_date/index.php?mode=AD001&page=9&search=&strsearch=&cate=&PN=6&SN=1&work=view&idx=699&ckattempt=1))) (열람일: 2023년12월3일)]
- オ・ジンタク(2014)『死をいかに理解するか』翰林大学校出版部。[오진탁, 2014, 『죽음 어떻게 이해할 것인가』, 한림대학교출판부]
- オ・ヘリョン(2022)「死の教育講師養成課程の現況と課題」『人文社会21』6: 2401-2416。[오혜련, 2022, 「죽음교육 강사양성과정의 현황과 과제」, 『인문사회21』13(6): 2401-2416]
- キム・オッラほか(2021)『死の準備教育20講——人生が幸せになる死の理解, ケアについての教え』湧き出る喜び。[김옥라 외, 2021, 『죽음준비교육 20강: 삶이 행복해지는 죽음 이해, 돌봄에 대한 가르침』, 샘솟는기쁨]
- キム・ガヘ／パク・ヨンファン(2020)「韓国社会のウェルディング概念分析」『筋関節健康学会誌』27: 229-237。[김가해/박연환, 2020, 「한국사회의 웰다잉 개념분석」『근관절 건강학회지』27: 229-237]
- キム・ソンヒ／ソンヤンミン(2013)「老人死の教育の効果分析: 生活満足度及び心理的安寧感に及ぼす影響と死に対する不安の媒介役割」『保健社会研究』33(1): 190-219。[김선희/송양민, 2013, 「노인죽음교육의 효과 분석: 생활만족도 및 심리적 안정감에 미치는 영향과 죽음불안의 매개역할」, 『보건사회연구』33(1): 190-219]
- キム・ミンウ(2019)「ウェルディング法の施行をめぐる諸問題」『法学論考』65, 33-54。[김민우, 2019, 「웰다잉법의 시행을 둘러싼 제 문제」『법학논고』65: 33-54]
- 女性家族部(2021)『2020年家族実態調査分析研究』女性家族部。[여성가족부, 2021, 『2020년 가족실태 조사분석연구』, 여성가족부]
- ジョン・ギョンヒほか(2018a)『ウェルディング(Well-dying)のための制度的基盤準備方案』韓国保健社会研究院。[정경희 외, 2018, 『웰다잉을 위한 제도적 기반 마련 방안』, 한국보건사회연구원]
- ジョン・ギョンヒほか(2018b)『死の質を高めることを通した老年期の尊厳の確保方案』韓国保健社会。[정경희 외, 2018, 『죽음의 질 제고를 통한 노년기 존엄성 확보방안』, 한국보건사회연구원]
- 統計庁(2022)『人口動向調査』統計庁。[통계청, 2022, 『인구동향조사』, 통계청]
- ファン・チャンイク(2019)「死の準備教育の必要性和需要に関する研究」中央大学校修士学位論文。[황창익, 2019, 「죽음준비교육의 필요성과 수요에 관한 연구」중앙대학교석사학위논문]

保健福祉部 (2020) 「2020年老人実態調査」韓国保健社会研究院。[보건복지부, 2020, 「2020년 노인실태조사」, 한국보건사회연구원]

## 第17章 なぜ、福祉行政ICT戦略が迅速に進んだのか

羅 琅京

- イ・ヨンヒ (2015) 「保健福祉分野の公共ビックデータの活用と課題」『保健福祉フォーラム』, 第227号: 5-16。[이연희, 2015, 「보건복지분야 공공 빅데이터의 활용과 과제」『보건복지포럼』 제227호, 5-16]
- オム・ジェソン/ジョン・ジウン/イム・ビョン인 (2021) 「社会保障情報システムの福祉給付における不正受給の遮断原理と改善方案」『韓国経済研究学会』第39巻4号: 107-136。[엄재성/정지운/임병인, 2021, 「사회보장정보시스템의 복지급여 부정수급차단 원리와 개선방안」『한국경제연구학회』 39 (4): 107-136]
- 企画財政部・慶熙大学校 (2015) 『經濟發展經驗のモジュール化事業：韓国の住民登録制度の發展過程』企画財政部・慶熙大学校。[기획재정부・경희대학교, 2015, 『경제발전경험모듈화사업: 한국의 주민등록제도 발전과정』 기획재정부・경희대학교]
- キム・ウンハ (2019) 「社会保障情報システムにおける情報の政策活用と課題」『保健福祉フォーラム』第274号: 41-52。[김은하, 2019, 「사회보장정보시스템 정보의 정책 활용과 과제」, 『보건복지포럼』 제274호, 41-52]
- キム・ウンハ (2022) 「ビックデータ情報システムの活用現況と課題——福祉死角地帯の発掘システムを中心に」『保健福祉フォーラム』第313号: 24-34。[김은하, 2022, 「빅데이터 정보시스템 활용 현황과 과제: 복지 사각지대 발굴 시스템을 중심으로」, 『보건복지포럼』 제313호, 24-34]
- キム・キジュン (1999) 「国家の国民管理体系と人権——戸籍と住民登録制度を中心に」(世界人権宣言50周年記念学術行事発表資料)。[김기중, 1999, 「국가의 국민관리체제와 인권: 호적과 주민등록제도를 중심으로」(세계인권선언 50주년기념 학술행사 발표자료)]
- 国会立法調査処 (2011) 『福祉給付の効率性を再考するための社会福祉伝達体系の改善方案研究』国会立法調査処。[국회입법조사처, 2011, 『복지급여의 효율성 제고를 위한 사회복지 전달체계의 개선방안 연구』 국회입법조사처]
- ジョン・チュンシク (2021) 「我が国の情報化および電子政府政策の30年の変化」『ICT Platform Society』創刊号: 3-30。[정중식, 2021, 「우리나라 정보화 및 전자정부 정책 30년의 변화」, 『ICT Platform Society』 창간호: 3-30]
- チェ・ギョン/ファン・キョン란/ソ・ビョン스/リュ・ミョン소크/キム・ヒョン진/ジャン・ジンヨン/ジョン・ヨンウン/カン・フン/ヨ・ヘ스 (2012) 『福祉死角地帯の発掘の体系化及び福祉情報の接近性の強化方案』保健福祉部・韓国社会福祉協議会。[최균/황경란/서병수/류명석/김현진/장진용/정영은/강훈/여혜수, 2012, 『복지사각지대 발굴체계화 및 복지정보 접근성 강화방안』, 보건복지부・한국사회복지협의회]
- チェ・ヒョンス (2019) 「次世代社会保障情報システムに基づく『オーダーメイド型福祉サービス』支援を通じた包容と革新への福祉パラダイムの転換」『保健福祉フォーラム』第274号: 53-61。[최현수, 2019, 「차세대 사회보장정보시스템 기반의 『찾아 주는 복지서비스』 지원을 통한 포용과 혁신의 복지 패러다임으로의 전환」, 『보건복지포럼』 제274호: 53-61]
- チュ・ビョンジュ/パク・ソンミ (2017) 「社会保障情報システムの成果と課題」(韓国財政学

- 会秋季学術大会資料, 2017年10月14日)。[추병주/박선미, 2017, 「사회보장정보시스템의 성과와 과제」(한국재정학회 주계학술대회 자료, 2017년10월14일)]
- ハム・ヨンジン (2013) 「福祉における情報化の効果に対する試論——社会福祉統合管理網を中心に」, 『韓国デジタル政策学会』第11巻第8号: 11-21。[함영진, 2013, 「복지부문 정보화의 효과에 대한 시론적 논의: 사회복지통합관리망을 중심으로」『한국디지털정책학회』제11권제8호, 11-21]
- ハン・ウンヒ (2017a) 「不正受給を防止するためのシステム (I) ——死亡が疑われる者HUBシステム」『社会保障情報Brief』第5号: 1。[한은희, 2017, 「부적정 수급 방지를 위한 시스템 (I): 사망의심자 HUB 시스템」, 『사회보장정보Brief』제5호, 1]
- ハン・ウンヒ (2017b) 「不正受給を防止するためのシステム (II) ——確認調査」『社会保障情報Brief』第6号: 1。[한은희, 2017, 「부적정 수급 방지를 위한 시스템 II: 확인조사」『사회보장정보Brief』제6호, 1]
- パク・キョンハ/ジン・ジェムン/ユ・ウンキョン/ジョン・ジュヨン/ソン・スンヨン (2016) 『オーダーメイド型給付体系における死角地帯の特性と支援方案研究』釜山福祉開発院。[박경하/진재문/유은경/정주영/손승연, 2016, 『맞춤형 급여체계의 사각지대 특성과 지원방안연구』, 부산복지개발원]
- 保健福祉部 (2011) 『社会福祉統合管理網白書』保健福祉部。[보건복지부, 2011, 『사회복지통합관리망백서』 보건복지부]
- 保健福祉部 (2019a) 「次世代社会保障情報システムの構築事業の推進方向」(内部資料, 2019年4月): 9。[보건복지부, 2019, 「차세대 사회보장정보시스템 구축사업 추진방향」(내부자료, 2019년4월, 9)]
- 保健福祉部 (2019b) 「社会保障関連の情報システムの発展段階」(内部資料, 2019年4月11日): 5。[보건복지부, 2019, 「사회보장관련 정보시스템 발전단계」(내부자료, 2019년4월11일, 5)]
- 保健福祉部 (2022) 「福祉はざまのニーズ発見と支援体系の点検」(内部資料, 2022年8月23日): 7。[보건복지부, 2022, 「복지사각지대 발굴 및 지원체계 점검」(내부자료, 2022년8월23일: 7)]
- 保健福祉部 (2023) 「保健福祉部, 福祉死角地帯の発掘現況の点検と現場の意見聴取」(報道参考資料, 2023年11月29日): 3。[보건복지부, 2023, 「보건복지부, 복지사각지대 발굴 현황 점검 및 현장 의견취취」(보도참고자료, 2023년11월29일): 3]
- 保健福祉部・保健社会研究院 (2019) 『次世代社会保障情報システムの構築戦略と基盤政策研究』。[보건복지부・보건사회연구원, 2019, 「차세대 사회보장정보시스템 구축전략 및 기반정책연구」 보건복지부・보건사회연구원]
- 保健福祉部・社会保障情報院 (2022) 『福祉死角地帯の発掘管理システムにおける対象者の実態分析を通じた支援方案研究』保健福祉部・社会保障情報院。[보건복지부・사회보장정보원, 2022, 『복지사각지대 발굴관리시스템 대상자 실태분석을 통한 지원방안 연구』 보건복지부・사회보장정보원]
- 保健福祉部・保健社会研究院・社会保障情報院 (2015) 『社会保障情報システムを活用した福祉死角地帯の発掘方案研究』保健福祉部・保健社会研究院・社会保障情報院。[보건복지부・보건사회연구원・사회보장정보원, 2015, 『사회보장정보시스템을 활용한 복지사각지대 발굴 방안 연구』 보건복지부・보건사회연구원・사회보장정보원]

保健福祉部・保健社会研究院・社会保障情報院 (2018) 『社会保障情報システムを活用した福祉  
死角地帯の発掘拡大方策』保健福祉部・保健社会研究院・社会保障情報院。[보건복지  
부・보건사회연구원・사회보장정보원, 2018, 『사회보장정보시스템을 활용한 복지사각  
지대 발굴 확대방안』 보건복지부・보건사회연구원・사회보장정보원]

未来創造科学部・ソフトウェア政策研究所 (2015) 『社会保障情報システムの成果と課題』未来  
創造科学部・ソフトウェア政策研究所。[미래창조과학부・소프트웨어정책연구소,  
2015, 『사회보장정보시스템의 성과와 과제』, 미래창조과학부・소프트웨어정책연구소]

---

## 終章 新たな挑戦をどうみるか: 示唆と展望

呉 世雄

カン・シンウック／ホ・ソン／ジョン・ホウォン (2004) 『国民基礎生活保障法の制定過程分析  
(研究報告書2004-29)』韓国保健社会研究院。[강신욱/허선/정호원, 2004, 『국민기초생  
활보장법 제정과정 분석 (연구보고서2004-29)』, 한국보건사회연구원]

参与連帯 (1994) 「参与連帯創立宣言文 (1994.9.10)」。[참여연대, 1994, 「창립선언문」  
(1994.9.10)]

ナム・チャンソップ (2019) 「国民基礎生活保障法制定20年と市民社会の役割」『保健福祉フォー  
ラム』第275巻: 21-31。[남찬섭, 2019, 「국민기초생활보장법 제정 20년과 시민사회의 역  
할」, 『보건복지포럼』 275: 21-31]